



公益活動
クローズアップ
2014

鹿児島法人会
宇宿支部

春の風物詩として親しまれています 10年目を迎えた「桜ちょうちんフェスタ」

<イベントが始まった経緯>

市内有数の桜の名所で知られる紫原台地。メインストリート沿いには約600本の桜が植えられ、紫原にある十数個の公園にも桜が数多く植えられています。

30数年前より行っていた「桜まつり」がバブル崩壊とともに10数年間途絶えておりましたが、紫原の桜をよき思い出として子供たちの記憶に残してあげたいとの熱き思いから、2006年当時の鹿児島法人会 紫原支部と一本桜支部のメンバーが中心になって「桜ちょうちんフェスタ」という名称でイベントを始めました。

<提灯の点灯>

紫原の中心を十字に交わるバス道路の桜並木に提灯を吊るし、桜の開花時期に合わせて約20日間、午後6:30～11:00まで点灯します。春の風物詩として地域のみならず市民の皆さんからも親しまれています。咲き誇る桜を昼間に眺めるのも心が和みますが、夜に提灯の明かりに照らされる桜並木も違った美しさがあります。

<盛りだくさんのイベント内容>

今年の点灯式イベントは3月28日(土) 午後2:00より紫原の「むらさき公園」で開催いたします。

地域の小中学生の吹奏楽演奏、小学生を対象とした税金クイズ、よさこい演舞、歌謡ショー、格安の模擬店、商店街で使える共通利用券の抽選会などは、毎年大勢の地域住

民が集まり盛り上がりを見せています。

式典では点灯スイッチを小学生が押したり、イベントの司会を中学生が務めたり、小中学生が前面に出て活躍しています。また地元にある志學館大学の学生さんもボランティアで参加し、無料のわた菓子を作ったり、会場設営などの運営を助けてくれます。もちろん宇宿支部のメンバーも会場内を所狭しと動き回っています。そして青年部会メンバーは慣れた手つきによるバルーンアートで小学生を喜ばせています。

昨年は雨天のため中止となりましたが、今年は雨天対策も検討しています。

<地域と共に>

実行委員の中心メンバーは鹿児島法人会宇宿支部(旧 紫原・一本桜・宇宿の3支部が合併)の会員ですが、町内会、小中学校 PTA、おやじの会、商工会、金融機関、志學館大学の学生さんも実行委員会に入ってもらい活発に意見を交わし一緒に準備を進めています。より多くの地域の方々を巻き込んでの運営により、実行委員会はここ数年で大きく進化を遂げています。

<最後に>

皆さんも桜の季節になりましたら、紫原にいらして「桜ちょうちん」を楽しんでみませんか。



税金クイズ



ジャズバンド演奏



紫原の桜並木